

学校法人 麻上学園 幼稚園型認定こども園

さくら幼稚園

令和4年度入園案内



理事長

麻上 昌幸

園長

大瀧 健太



〒047-0156

小樽市桜1丁目5番1号

TEL 0134-54-6106

Fax 0134-54-9010

原点に戻る、、、。

幼稚園案内と言え！各理事長先生や園長先生の教育論や園の教育方針をよく目にします。私は人間として、園長としてもまだまだ未熟であり、教育論を我もの顔で論ずる立場でもありません。

ただ、幼児教育にとって大切な事は実際に教諭をすることで数多く感じ学んできました。

自然豊と触れ合い、、、姿勢をしっかり、、、自主性を育み、、、

生きる力をつける、、、協調性を育む、、、 などなど。

どの園のどの教育方針も正しい！ そうだね！ そんなふうに育てたい！ と思うものです。

ただ、子どもにとって何が合っているか？ この子成長にとってなにが正しいか？

それがどうしても課題となってしまうものです。

子どもにとって大切な事は何が正しいかではなく、なにが『楽しいか』ではないでしょうか？

幼児教育者が一番に大切にしなければならない事は

子ども達の『楽しい』を引き出す事。

どんな有名なプロスポーツ選手も、どんな優秀な科学者も、口をそろえて言う言葉

「〇〇が好きなんです」「〇〇が楽しいんです」。

人は楽しいとその事柄が好きになる。そしてもっとやりたくなる。発展させたくなる。向上させたくなる。そんな生きものなのです。

そして、そこに自分を認めてくれる大好きな友達がいれば自信となり、共有する事ができればお互いにより視野を広げ、世界観が枝分かれしていくものです。

それが幼稚園の存在意義ではないでしょうか？

幼稚園を楽しい場所にする！それが園長として先生方をお願いした事です。

成長は環境が引き出し、友達が伸ばしてくれるもの。

楽しい場を作り、楽しむ力を育めばその子の人生は一生輝き続けると信じています。

ホームページ園長挨拶より

『ソサエティ5.0』を過ごす子ども達に向けた新しい教育

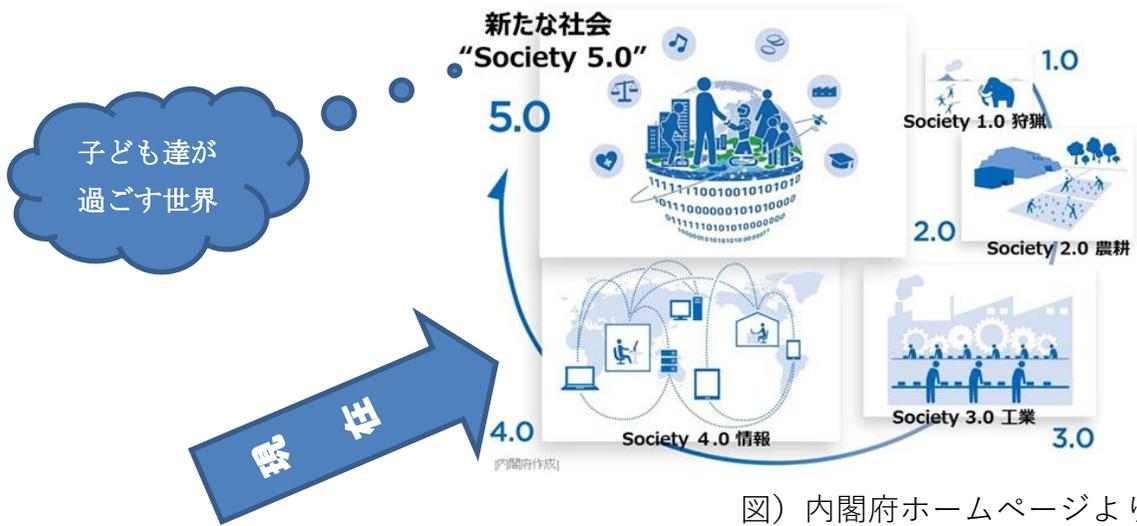


図) 内閣府ホームページより

世界は人類の進歩により狩猟社会 (Society 1.0)、農耕社会 (Society 2.0)、工業社会 (Society 3.0)、情報社会 (Society 4.0) と歩みを続け、子ども達が過ごす未来はサイバー空間 (仮想空間) とフィジカル空間 (現実空間) を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会 (Society 5.0) に向かい、すでに急速にその足取りを速めている。

狩猟社会から農耕社会まで〇〇千年、農耕社会から工業社会まで〇〇百年工業社会から情報社会まで〇〇十年、次々と加速している人類の社会的変化に対応するには現代の大人が明らかに訪れる未来に合った人間の育成をしていなければならない。



[内閣府作成]

図) 内閣府ホームページより

今の子どもたちの 65%は、大学卒業時に、今は存在していない職業に就き、“今後 10～20 年で、雇用者の約 47%の仕事が自動化される”といった予測もあるように、将来の変化を予測することが困難な時代を生きる子どもたちに対しては、社会の変化に受け身で対処するのではなく、自ら課題を発見し、他者と協働してその解決を図り、新しい知・価値を創造する力を育成することが大切。

そのために私たちは「何を教えるか」だけでなく、子たちに「どのように学ぶか」という場をつくり、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習を充実させていくことが求められている。

(教職員等の指導体制の在り方に関する懇談会引用)

どのような子を育てたいか？

大好きな事はより楽しく

沢山の事柄に愛や楽しみをみいだす

どんな屈強な壁に当たってもそこから這い上がれる子に

いつも笑顔で沢山のの人にそれを振りまいていける子に

楽しいを伝染させ沢山の楽しい！幸せ！を増幅させてほしい

どのような手段で？

さくら幼稚園の 遊びを支える 2本の柱

幼稚園のおもな活動は子ども達の『遊び』です。

その遊びを引き出す為、充実させるために

『体育活動』と『日課活動』があります。

脳を活性化させ、健康な体を作り、自己を表現する手段を身に着け、より充実した遊び

『遊び込む力』を育みます。



① 『遊びの時間』（総合）



幼稚園教育要領の改訂に伴い『遊び』がより重視されるようになりました。当園では単に自由遊びの時間を設けるのではなく『遊び込み』を合言葉に子ども達主体の活動となるようきっかけ作りや助言、環境構成などのお手伝いをしています。

子どもたちは遊びから生まれる問題点や、発見、アイデアなどを共有しながら日々継続的活動を行い自尊心を育みます。

この毎日の活動が『自分たちの幼稚園』を作り、自分の居場所や存在意義を構築、自己肯定感や※非認知能力を育みます。

※非認知能力…IQなどの数値では測れない力、粘り強さや協調性、自制心など

② 『体育活動』（体）

身体が学びの質を高めます。きびきび動ける幼児は脳も活発に働き、いきいきとしています。しなやかな、集中力ある俊敏に動ける身体を育てる毎日の活動です。当園は幼児体育指導の資格保持者が数名おり、中心となって安全に確実に指導しています。



③ 『朝の日課活動』（脳）

フラッシュカードや百玉そろばんなどを使い、瞬間的に脳へ刺激を与えます。大脳の発達原理に基づく科学的根拠のある活動です。詩の朗読などにより様々な日本語を知り感性を養います。短時間集中、リズムカルにテンポよく、楽しみながら、未来の可能性を育てています。



大切なのは勉強をする事、頭をよくする事ではありません。正しい姿勢で座る事、人の話を聞く事、正しく鉛筆を持つ事、待つ事、椅子を机に入れる事、『あたりまえをあたりまえにする事』を幼児の生活に組み込みます。

毎日の活動なので何かしらの力は自然と身につけていきます。小学校へ入学して必要な事は日々の幼稚園生活から自然に身につきます。



～その他の魅力～

自分の健康を守り、豊かな食生活を創造する力を育てる

☆給食について（食育）

当園は1号認定2、3号認定共に週5の園内調理完全給食です。栄養士が常勤し、メニューの立案や、食育指導を行っております。

さくら幼稚園の食育とは・・・

毎日の給食の中で・食に興味を持つ

・食えることが好きになる

・栄養バランスのとれた食事で健康な身体を作る

- ① 色々な食材やメニューを知ることで調理法の違い、味の違いを体験すること
- ② 伝統食、行事食、旬の食材を通じて、地域、日本、世界の文化を知ること
- ③ 食事のマナーを知り、みんなで楽しく食べる経験をする事
- ④ 自園農園での野菜、お米作り、みそ作りなどを体験し、収穫後の試食や調理体験を通じて、育てること、作ることや食べることの楽しさを知ること
- ⑤ 以上を踏まえ、他人と一緒に食べる、作るから、他人に分け与える、共有する喜びを感じて、作ってくれる人、食べてくれる人への感謝の気持ちを育てていくこと

他にも日本固有の行事の食べものを食べる機会を大切に、田植え、種植え、雑草抜き、観察、そして収穫の喜び、いただく喜びを味わいます。



☆危機管理対策

危機管理マニュアルの確認と見直しを園内研修を通して行い、あらゆる自然災害に対して落ち着いて迅速に対応できるよう訓練を行っています。園には4台の監視カメラがあり、AEDやポイズンリムーバー、発電式電灯、非常食なども常備し、非常事態に備えます。

また、送迎バスは毎朝アルコールチェックを実施。車両にはGPSを搭載、前方、後方はもちろん車内録画をしています。



☆ICTシステム

先生がより子ども達の教育準備に充実した時間を使うため、また、保護者の方の負担軽減を目的としたアプリシステムを導入しております。基本的に幼稚園で徴収します料金は全て引き落としとなり、現金のやり取りはございません。また、GPSにより送迎バスの居場所がわかったり、欠席や、預かり利用など簡単なアプリ操作でお申し込みが可能です。



☆各種行事

子ども達にとって大切なことは幼稚園に友達がいって、そして楽しい場である事。大好きな友達と様々な経験のなかで様々な事を見て、様々な事を感じる、、、ご家庭ではできない体験を幼稚園という場で存分に体験してもらえよう意識し、定番行事はもちろんですが保育活動で行うプチ行事も豊富です。

観光船体験、雪明り、ぶどう狩り、流しそうめん、お餅つき、みそ作り体験、水族館見学、動物園見学、田植え、消防署見学、うどん作り、観劇観賞など



☆SDGs幼稚園の取り組み

『SDGs』とは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。

簡単に言うと「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった問題を、世界のみんなが2030年までに解決していこう」という計画・目標のことです。

当園は『幼児教育機関』です。未来を創造する子どもたちを教育する施設ですから、その未来への環境を守る努力をすることも責任の一つと考えています。

“私たちにできることを一つひとつ持続していこう。”子どもたちにも世界情勢や地球環境など視野を広く向け、様々な事への興味関心を養っていこうと考えています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

認定こども園さくら幼稚園は
持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

☆課外活動

放課後の課外教室として園児を対象とした「さくら幼稚園放課後クラブ」を発足いたしました。幼稚園での苦手の克服や、さらに楽しく体を動かしたい子ども達の手助けになればと思っております。また、2号認定者の増加により幼稚園で過ごす時間が長くなる事を有効活用するなどの選択肢の増加も必要かと思えます。

※令和3年度例

月…ダンスクラブ 火…学研教室

水…運動クラブ 木…学研教室 金…学研教室

また、その他にも園を会場に幼稚園児や小学生を対象とした「小樽キッズサッカークラブ」・「赤丸体操教室」「ECCジュニア」がございます。詳しくはそれぞれのパンフレット等をご参照の上お申し込み下さい。

※国の制度や園の事情人事の都合によりにより内容や料金が変更になる場合があります。



令和4年度募集詳細

1. 入園受付について（1号）

令和3年11月1日(月) 午前9:00より、玄関窓口にて受付を開始します。
入園申込書及び申請書兼現況届をお持ちください。(内容と押印箇所を確認してください) 受付時に面談の日程・時間の案内をいたします。都合が合わない方はご相談下さい。

※願書を提出された先着順で入園内定といたしますが、定員を超過したり、当園で生活するのが難しいと判断した場合は内定取り消しとなります。(取り消しの場合は面接後に御連絡いたします。)

※2号については小樽市役所子育て支援課へお問い合わせ下さい。

4月入園希望の方は2月15日(1次募集)までの申し込みが必要です。



2. 入園時 ・ 入園後の経費と納入方法については別紙をご参照ください。

3. 入園までの日程

・ 願書受付	11月1日(月)	午前9時より随時
・ 面談	11月8日(月)	午前10時～18時
・ 教材渡し		
説明会	3月23日(水)	午前9時30分
・ 入園式	4月9日(土)	午前10時



4. 保育時間（一号認定者）

・月～金曜日の午前8時30分から午後14時まで
です。（行事により変更あり）

・入園日から4月15日(金)までは、ならし保育期間
(11:30降園)となります。



1日の流れ

7:30～9:00	登園
9:15	体育活動
9:45	日課活動
10:00	遊びの時間
12:10	給食
13:00	クラス活動
13:30	帰りの準備・整理整頓
14:00	降園



5. 一時預かり保育について

～18:00（1号認定者）

①通常預かり保育(降園後の預かり)

1回のご利用につき450円(おやつ込み)

18時以降は延長150円

②土曜日・振替休日(行事の代休)・長期休み(夏休み)預かり

1時間…120円(春・冬休みは1時間140円)

③早朝預かり

7:30～8:30まで…100円

※幼児教育無償化により、新2号認定を受けると1号認定の方の一時預かり部分
が一日450円まで月11300円まで補助を受けられます。新2号認定専用の書類
を提出して頂きます。



6. 送迎バス運行について

1号バス乗車希望者を基準にバスコースの設定を行います。2号バス乗車希望の方はバスコースを確認いたしますのでご相談下さい。

(1か月2400円。園が指定している保育日数が月15日以下の場合は半額、兄弟一律1000円、片道指定半額)

7. 給食について

栄養士指導の元、自園調理を行います。

子ども達の健やかな成長の為に栄養士と保育教諭が協力し楽しく食育指導してまいります。



○1号2号全給食 (1号週5回/2号週6回提供)

1号料金 副食 3600円 + 主食 900円

計 4500円

2号料金 副食 (おやつ代含む) 4500円 + 主食 1000円

計 5500円

1号2号共に非課税世帯は副食費のみ4500円まで免除されます。

8. 個人情報の管理について



○連絡アプリ

連絡網をアプリでの一括送信にしています。連絡内容をスピーディーに確実に、正確にお伝えできるシステムです。入園申込書での承認をいただき『バスキャッチ』(園委託業者)のサーバーに登録し厳重管理により外部に流出することはありません。



また園内でもすべてのパソコンにファイヤーウォールを設置、UTM や不正接続遮断システムを完備し、出来る限りの処置を講じております。

○ホームページ

幼稚園の保育・教育や園児たちの様子を、保護者の皆様やそのほかの皆様にも伝えていくためにフェイスブック・インスタグラム・ホームページにて広報掲載を行っております。掲載を希望されない方は、入園申込書へご記入下さい。

< <http://www.sakura-ac.jp> >

よりよい幼児教育の為に承知いただきたい事

幼児教育について

当園は令和元年度より認定こども園として生まれ変わりました。移行理由は上質な幼児教育を出来る限り沢山の子ども達に提供し、当園を利用して頂きたいからです。

『さくら幼稚園』という名称通り、幼児教育が基盤となっております。その為教育的運営をしております。保護者の皆様にはご協力頂かなくては実現不可能な事も多々あるかと思えます。その点をご承知いただきご入園下さい。

処遇改善と子どもと関わるべき大人の姿

全職員には積極的に有給の取得を促し、定期的に業務改善を行います。

幼稚園たるもの子どもファーストでなければいけないのは勿論ですが、子どもと関わる大人のメンタルサポートは欠かせません。

「教育者」は「労働者」になってはいけない。これが私の持論です。

しかし、幼稚園教諭という職業が巷では賃金が少ない、残業は当たり前、持帰りの仕事が多い、有給なんてとれない。そんな不満を抱えながら過ごす先生が、素敵な先生として皆様の大切なお子様に確かなパフォーマンスを行えるでしょうか？

働き方改革が推進されているこの時期にしっかりと見直しをはかり『重要な事』の優先順位を定め効率的な幼児教育を進めています。

これは職員が手抜きをするという事では決してありません。現在の職員はみな誠心誠意努力し向上心をもって子ども達と関わってくれています。

何が子ども達にとって最善であるかを追求している事をご理解下さい。

子ども達も保護者の方も、先生方も『さくら幼稚園』にいる事が誇らしくここが大好きになるよう全力を尽くすのが園長の役割だと思っています。



令和5年度幼稚園型→幼保連携型認定こども園へ移行の準備を進めています。

現在の保育内容など大きく変わる事はございませんが、一貫した幼児教育を行うべく0歳児からの受け入れを目指し、申請を検討しております。その際、施設整備などを行う事となりますので仮クラスの設置、統合クラスなどの対応をすることとなりますのでご了承下さい。(6月～2月を予定)



その他

※新型コロナウイルス感染症に関すること

換気や手洗い、消毒はもちろん、各クラスにはパーテーションを設置しております。緊急事態宣言などが発令された場合などは、小樽市の感染状況を見ながら家庭保育のお願いやバス運行の中止、マスク着用(3歳以上児)、検温表の記入、園内立ち入り禁止など行うこともございます。

職員は基本的にはフェイスシールド着用としていますが、健康状態や感染状況によってはマスク着用とします。※子どもたちに職員の表情を見せ、コミュニケーションを図ることを重視しています。

また、定期的にPCR検査を実施し、保護者の方々が安心して預けられる環境作りに努めています。

※幼稚園運営に関する費用については年度切り替え時に関わらず変更することがございます。

★お問い合わせなどはお電話かLINE、各種SNSにてお願い致します。

さくら幼稚園→54-6106まで



LINE QRコード



Facebookはこちら



Instagramはこちら





SAKURA
KINDERGARTEN